

東日本大震災 支援活動報告

▶南三陸町ボランティア・仙台YMCA支援金贈呈

CS/TOF委員長 二見 康一

9月10日 4:00AM発、瓦礫の集積や錆付きグシャと押しつぶされた車とか、何もかも取り除かれた異様な平地を経て南三陸町、神割崎キャンプ場12:00着となった。

仙台YMCA元東日本区理事清水さんと日下部さんが明るく出迎え大阪YMCAリーダーと学生2名と共に既に出来ていた「トン汁」を仮設住宅のご老人20名ほどに配布しご一緒にお昼を頂く事になった。天候に恵まれ、熱海の事や神割の地名の事などを話し被災の件は触れることができなかった。

昼食後に83歳の老婆がお礼にと「浜甚句」を歌い周りで囃しながら踊ってくれました。一時のことでしょうが、笑顔が陽に眩しく災害の渦中にある事を忘れさせてくれ、精一杯の返礼に感じ取れ胸がジーンと熱くなりました。同時に半年を経て仮設住宅生活に慣れ、仕事の無いままの毎日に不安と諦めを感じさせられました。

その後、海岸線の清掃活動を皆で行いましたが、家屋の柱や割れた船舶・漁に使用した箱メガネなど多数の漂着物を回収しました。



仮設住宅の子供達は、2~3名で大阪からの学生ボランティアがレクリエーションで相手をして遊ばせていました。

作業も区切りを付け台中クラブ・熱海クラブの寄付金を元東日本区理事の清水さんに渡し責任の一つを果たし安堵しました。

その後バスにて宿泊の地（登米市の作業小屋のような建物）へ向かい着替えを持って近くの温泉で汗を流しました。

夕食は仙台YMCAからお弁当を頂き、災害支援の現状など伺いました。その後、町へ出て学生もワイズ談義に加わり熱海ワイズのわいわい談義となり、参加者は皆さん疲れと満足感で10時には珍しく就寝となりました。

11日 8:30AMから南三陸町の中心地で最後まで避難アナウンスを続けた遠藤未希さんのいた建物辺りを視察しました。

「そうだ、ここだよ」メンバーの一人が言いました。一面瓦礫を撤去し所々野積みされた塊と荒涼たる平地に風が渡り、骨組みだけの建物が報道のままにその姿を残し少し傾き佇んでいました。

海岸線には、戸倉中学校が揺れる布を窓に纏い、無人の何も無いコンクリートの建物だけとなり、そして破壊された防波堤が波にさらされすべてを引き込み飲み込んだ



津波の圧倒的な破壊力を目の当たりに言葉なく脱力し立ち尽くすのみでした。奇しくも震災から半年の南三陸町では慰霊祭が催されていました。

その後、仙台YMCA高松さんの案内で三滝堂キャンプ場へ向かい、メンバーは集まった各地の仮設住宅に分宿している小学生約20名とボランティア約12名に焼きそばを作り、同行の学生は仙台・大阪・栃木YMCAのボランティアと共に子供たちを沢遊びに連れ出し、山間に元気な声を響かせていました。



仮設住宅のご老人も子供達も分散されて生活し、被災前の様にコミュニティーが形成出来ず思うように遊びやおしゃべりが出来ないのです。そのストレスを緩和し、達者な顔と顔を合わせる事が出来ることで、また安心してボランティアに任せることで個々の家庭内のストレスも緩和されると教えて頂きました。

手作り焼きそばを振舞った後、12:00に帰路に着き熱海には20:30に全員何事も無く家路に着くことが出来ました。

今回のボランティアから「百聞は一見に如かず」の諺が頭をよぎります。同時に被災者の方々は、どこからどのようにしたらいいのか此れからの不安と生活の変化に、自分から何も出来ない無情と脱力感に今はただ待つのみなのであろうかと苛立ちを感じました。

道遠しの感深い中、一刻も早い生活の筋道と将来の具体的なプランを明示して希望に繋げる事が最も急がれる事ではないでしょうか。何もかも引きずり去った海から今度は潮風が胸に迫る思いを運んでくれました。

キャンプ場の子供たちも死者の悲惨な光景から心が閉ざされ心象を変化させることが出来ずに引きこもりの子も出たり、多感な時期での出来事だけに早く乗り越えて此れからの人生に強く大きく影響が出ないで欲しいと祈るばかりです。

われわれの様な小さな力のボランティアでしたが、被災地が少しでも普通の日常生活となる日まで時間を掛け一緒に何かを連帯していきたいと切に思う次第です。

熱海ワイズメンズクラブを代表し支援活動・台中クラブ支援金の贈呈を会員皆様のご協力ご理解を頂き終了しました。以上ご報告と致します。

〈参加者9名〉

会員7名

- ・池田直文
- ・梅田邦彦
- ・鈴木道夫
- ・室伏 勲
- ・西部慎介
- ・大川貴久
- ・二見康一

一般参加2名



2011年度 10月三クラブ合同例会プログラム

日 時・・・10月26日(水) 18時半～21時
 ホ ス ト・・・熱海グロリークラブ
 会 場・・・熱海後楽園ホテル
 受 付・・・高橋敏雄君・芥川雅行君・勝木吉夫君
 司 会・・・宝田昌孝君

1.点鐘	会 長	勝又 隆吉君
1.聖句朗読・開会の祈り		陣内 康策君
1.国歌斉唱・ワイズソング		全 員
1.ワイズの信条		山際 正道君
1.会長挨拶	グロリークラブ会長	勝又 隆吉君
	熱海クラブ会長	池田 直文君
	湯河原クラブ書記	北村 文雄君
	会 長	勝又 隆吉君
	各 ク ラ ブ	書 記
	熱海クラブ・グロリークラブ	各クラブ担当委員会
		北村 文雄君
	湯河原クラブ会長	藤 岡 孝 夫 君
1.ゲスト・ビジター紹介		
1.書記報告		
1.入会式		
1.食前の祈り		
1.乾杯		
1.会食	各 ク ラ ブ	担当委員会
1.委員会報告	各 ク ラ ブ	担当委員会
1.誕生日・結婚記念日祝	各 ク ラ ブ	親睦委員会
1.スマイル	各 ク ラ ブ	担当委員会
1.出席・スマイル・基金報告	熱海クラブ会長	池田 直文君
1.閉会の言葉	会 長	勝又 隆吉君
1.点鐘		

◎例会開会前に亡くなられた方の黙祷をささげたいと思います。



第4回 役員会報告

平成23年10月3日(月) 19時30分～ 於:ワイズ事務所
 出席:15名

- 報告事項・議題について
- 1.10月合同例会プログラムの件 ※ホストグロリークラブ..承認
- 1.サマーキャンプ最終決算報告承認
- 1.新入会員インフォメーション日程・10月入会式について
 インフォメーション6日(水)・10月合同例会にて入会式承認
- 1.10月15日チャリティーランについて
 参加費2チーム分支払い・1チーム編成して参加予定募集継続 ...承認
 ※前夜祭や交通手段等の御案内を後日FAX
- 1.前年度クラブアワード訂正表彰者の件承認
- 1.ドッジボール委員会 副委員長任命の件⇒小原ワイズに依頼承認
- 1.親睦バス旅行計画について⇒日程・予算案承認
- 1.韓国 釜山アルファークラブ公式訪問について最新状況⇒12名参加・6日説明会
- 1.10月23日富士山部会・親睦会について取りまとめ
 ※富士宮 花の湯 13時 10日まで募集、最終人数により交通手段等を決め小倉プロドラ委員長に一任
- 1.白ジャンパー補充の件 見積もり提出⇒10着製作.....承認
- 1.CS新事業『年賀葉書コンクール』開催最新進行状況について
 ポスター校正出来上がりポスター製作費を特別会計(CS基金)より支出承認
- 1.9月10日・11日 東日本大震災ボランティア支援活動報告
 仙台YMCA 総主事 大野浩悦氏より御礼状をいただく。
- 1.台中クラブより義援金について報告⇒台中に活動報告・御礼状・写真を送る
- 1.東日本大震災ボランティア支援活動の仮決算報告.....承認
- 1.第1回富士山部評議会継続審議議案についての会長意向発表
 今まで通り役員会と評議会は同日で良い・単年度予算案は事前に提案希望
- その他
- ①青少年事業として液状化被災地である千葉県旭市バレーボールクラブの小学生(液状化被害により試合出場困難な小学生)を受け入れ、多賀のジュニアバレーボールクラブ“クローバーズ”との交流会を12月23日企画支援。
 (試合は12月24日～25日)承認
- ②9月役員会で製作承認を得たネックピースのデザイン
会長・書記一任
- 次回 第5回役員会 11月4日(金) 19時30分～ 於:ワイズ事務所

熱海YMCA 10月 移動理事運営委員会

2011年10月5日(水)・6日(木) 記録:総務 森

- ◆10月5日(水) 小雨の朝7時にセンターを出発し、三島で鈴木健之さん、大村俊之さんが同乗し全15名の参加者で実施しました。
- ◆理事会報告は、第3回チャリティーランin御殿場の申込み入金状況を西川会計から渡された金額表を閲覧しました。
- ◆第26回英語スピーチコンテストの5日までの参加生徒の申し込みは2名+8名2校で10名の参加生の申し込み有り、17日締め切り日までに目標40名になるように10日以降に中学校へ更に呼びかけを致します。審査員として土屋委員、竹内理事長、高校のALT教師2名を依頼中、正式受託の返事待ちのところ です。

マイクロバスは竹内理事長の運転で東名静岡ICを下りて旧国道1号東海道を見学しながら西へ...あいにく雨の中、島田宿、大井川の木製の橋は明治12年に建造された長さ120mの橋を歩いて途中まで渡りました。先日の台風15号の被害で流された大木が橋脚に絡まってこれからの撤去が大変であろうと感じました。大井神社等を見学し山間部へと車は進み、浅葉ダム、佐久間ダムへと山道は進み、道中の狭いトンネルを数箇所通過して行き過ぎてしまい、やっとのことでUターンし、道を教えてくれた大変親切な採石運搬のダンプカー運転手さんの案内で下山しました。夕刻7時すぎにホテルEXIV浜名湖に到着、夕食懇談会ではそれぞれがYMCAに拘わる感想と思い出を語り楽しいひとときを過ごしました。翌6日は朝から秋晴れの清々しい晴天となり、鈴木忠夫YSの運転で、浜松周辺の寺、岩洞を見学し東名を一路帰路につき17時30分センターへ帰着しました。運転された竹内理事長、鈴木忠夫YSに参加者一同お疲れ様と感謝致します。



9月 例会報告

広報・会報委員会 内藤一郎



9月26日(月) 今月は移動例会、熱海YMCAセンターにて行われました。
 メンバーに措いては、うっかり熱海後楽園例会場へとか?行かれた方ごめんなさい!

池田会長の点鐘、熱海市教育委員会の糠谷先生を迎え、熱海ワイズメンズクラブの事業ドッジボール大会(11/12開催)の競技、熱海ルールについて印刷物を用意し説明の質疑応答、今迄の大会の実体験より、色々な質問が出ました。又、東日本大震災支援活動報告が、参加者よりされました。
 例会終了後前年度分の残された総会決議が承認され、橋本年度無事帰港。一年間御苦労様でした。



11月 例会担当予告 | 例会日/11月28日

受 付	岸 昭秀君	聖 句 朗 読	津田博之君
同 上	草柳義則君	開 会 の 祈 り	鈴木恵次君
司 会	八代一雄君	食 前 の 祈 り	鈴木恵次君
信 条	伊藤哲也君	閉 会 の 言 葉	田中秀宝君

CHARTERED.DEC.15.1963

発行責任者 会 長 池 田 直 文
 編 集 長 広報・会報委員長 小 原 進 一
 副編集長 // 副委員長 内 藤 一 郎
 編集委員 齊藤栄・津田博之・室伏勲・森重男
 事務所(〒413-8799) 静岡県熱海郵便局内私書箱37号
 TEL・FAX(0557)81-7518

